

6 成年後見制度について

(追加案) 問29 あなたは成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1 内容を知っている |
| 2 聞いたことはあるが、内容はよく知らない |
| 3 知らない |

(問29において、1～2と回答した方にお聞きします。)

(追加案) 問30 成年後見制度について何で知りましたか。(○はいくつでも)

※優先度 **中**

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1 市や市社会福祉協議会のイベント | 5 テレビ・ラジオ |
| 2 市や市社会福祉協議会の広報紙・パンフレット | 6 介護の専門家 |
| 3 市や市社会福祉協議会のホームページ・SNS | 7 法律の専門家 |
| 4 地域包括支援センター | 8 その他 () |

★(問29において、1～2と回答した方にお聞きします。)

(追加案) 問31 成年後見制度についてどのような印象を持っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 制度や手続きが煩雑で難しい | 5 後見人がどのような人になるかわからず不安である |
| 2 相談窓口がわからない | 6 詐欺被害などを防ぐことができ安心である |
| 3 費用がかかる | 7 超高齢化社会を迎えるにあたり、必要な制度である |
| 4 できれば利用したくない | 8 その他 () |

(追加案) 問32 以下のことについて、あなた自身がもっともあてはまるものをそれぞれひとつお答えください。(○はそれぞれ1つ)

日常生活自立支援事業 (市社会福祉協議会)	1 相談したことがある 2 相談したことはないが、活動内容を知っている 3 名前を聞いたことはある 4 聞いたことはない
成年後見支援センター (湘南ふくしネットワークオンブズマン)	1 相談したことがある 2 相談したことはないが、活動内容を知っている 3 名前を聞いたことはある 4 聞いたことはない
市民後見人養成講座 (市社会福祉協議会)	1 内容を知っている 2 聞いたことはあるが、内容はよく知らない 3 知らない
...	
...	

小野田委員：問32の2つめは「湘南ふくしネットワークオンブズマン」ではなじみが薄いかと思いますので、
 カッコ書きで「成年後見支援センター」を入れる方が良いと思います。

福祉政策課：他のものと書き方を合わせるために、
 表記は「成年後見支援センター（湘南ふくしネットワークオンブズマン）」としたい

問 29 成年後見制度の認知度(P11)

背景・前回調査票の課題	現状、成年後見制度がどのくらいの市民に認知されているのかが把握できていない
今回のねらい	成年後見制度の認知度を把握する(回答者の属性別に傾向を把握する)
期待できること	今後の指標として、目標を検討する

問 30 成年後見制度の認知経路(P11)

背景・前回調査票の課題	何が成年後見制度の情報源になっているのかが把握できていない
今回のねらい	現状、成年後見制度の情報源として機能しているものを把握する(これまでの周知方法の評価を兼ねる)
期待できること	今後の効果的な情報発信経路を検討するのに役立てる

福祉政策課：この設問よりは市内の施設等を聞いた方がよいか。

問 31 成年後見制度の印象(P11)

背景・前回調査票の課題	市民が成年後見制度に対してどのような印象を抱いているのかが把握できていない(良くない印象を持っているのではないかという懸念もある)
今回のねらい	市民の成年後見制度に対する印象を把握する(回答者の属性別に傾向を把握する)
期待できること	良くない印象を持たれていると利用促進に影響するため、払しょくするための取り組みを検討するのに役立てる 今後の成年後見制度に関する情報発信の内容を検討するのに役立てる

問 32 既存の相談窓口の利活用状況(P11)

背景・前回調査票の課題	既存の成年後見制度に関する相談窓口の認知度・利活用状況が把握できていない
今回のねらい	既存の窓口の認知度・利活用状況を把握する(これまでの活動の評価を兼ねる)
期待できること	窓口の周知方法や今後の運営の仕方の検討に役立てる

小野田委員：問31について「4 怖い」については、「5 安心」があるのに対して、「不安」「心配」に変える方が良いのは。追加項目としては「費用がかかる」などはどうか。

尾上委員：問31について、選択肢についての案、○はいくつでも(問30も○が複数でもかまわないと思います)

- 1 手続きが煩雑で難しい
- 2 費用がかかる
- 3 できれば利用したくない
- 4 詐欺被害などを防ぐことができ安心
- 5 超高齢化社会を迎えるにあたり、必要な制度である 等々

島村委員：問31について、成年後見制度の印象のところではより具体的な選択肢にすべき。

「成年後見制度の利用での不安な点や不明点はどのようなことですか」

- 1 制度がよくわからない
- 2 手続きがよくわからない
- 3 相談窓口がわからない
- 4 費用が不透明である
- 5 後見人がどのような人になるのかわからない
- 6 後見人・補佐人・補助人の具体的な違い 等々

小野田委員・福祉政策課：「家族、親族」は別か？「隣近所」ではなく、「身近に」としてはどうか。

福祉政策課：判断能力が「落ちている」ではなく、「低下している」はどうか。

(追加案) 問33 あなたの身近に、判断能力が低下していると感じる人はいますか。(○は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

(問33において、「1 いる」と回答した方にお聞きします。)

(追加案) 問33-1 それはどのような人ですか。(○はいくつでも)

1 認知症の方	4 高齢で身寄りがない方
2 精神障害者の方	5 その他 ()
3 知的障害者の方	6 わからない

(追加案) 問34 あなたは「市民後見人」に関心がありますか。(○は1つ)

1 関心がある	3 知らない
2 関心がない	4 その他 ()

(追加案) 問35 もしもあなたが病気や加齢により、判断能力が低下し、預貯金や不動産の管理、家族の世話、さまざまなサービスを利用するための契約行為に不安を感じたとき、誰(どこ)に相談しますか。(○はいくつでも)

尾上委員：司法書士は入りませんか

1 家族・親族	6 NPO法人や民間の相談窓口	福祉政策課：社会福祉士も同様
2 友人・知人・近所の人	7 法律の専門家(弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士等)	
3 市の相談窓口	8 病院(医師)	
4 社会福祉協議会	9 その他 ()	
5 地域包括支援センター	10 相談できる人はいない	

小野田委員：相談先に関する質問は、相談者のご家族等、ご本人以外の方が多いこともあり、「もしもあなたが病気や加齢により…」のあなたの後に「または家族が」を入れた方が良いと思います。

問 33 身近に判断能力が低下している人の存在の有無(P12)

背景・前回調査票の課題	「判断能力が低下している人」が、市民にとってどのくらい身近な問題になっているのかが把握できていない
今回のねらい	市民が身近な判断能力の低下した人に気づけているか、問題意識を持っているかという観点で、身近に成年後見制度の利用が検討されるような人の存在の有無を確認する(回答者の属性別に傾向を把握する)
期待できること	「判断能力が低下している人」に対して市民が気づける(理想)に対して、現状のレベルを把握し、今後の目指すべきところを検討するのに役立てる

問 33-1 身近にいる判断能力が低下している人の特徴(P12)

背景・前回調査票の課題	「判断能力が低下している人」について、市民がどのような特徴を認識しているかが把握できていない
今回のねらい	市民がどのような特徴をとらえて「身近な判断能力の低下した人」を認識しているのかを把握する(回答者の属性別に傾向を把握する)
期待できること	市民が判断能力の低下している人を窓口につなげたりできるよう、障害特性や制度に関する情報発信の内容を検討するのに役立てる

問 34 市民後見人への関心(P12)

背景・前回調査票の課題	茅ヶ崎市でも養成・活動をしている市民後見人について、市民の関心や認知度が把握できていない
今回のねらい	市民の関心もしくは認知度を把握する(回答者の属性別に傾向を把握する)※どちらを指標にしたほうがよいかという観点でも検討して決定
期待できること	今後の指標として、目標を検討する 関心度／認知度から、周知・広報の方法や内容などを検討する

福祉政策課：この質問だと自分が市民後見人をやりたいのか、ただ興味があるのかわからない。
よりストレートに市民後見人の認知度について聞く方が良いか。

問 35 今後判断能力が低下した場合の相談先(P12)

背景・前回調査票の課題	市民が、自分の判断能力が低下した場合に、どのような相談先を想定しているのかを把握できていない
今回のねらい	市民が想定している相談窓口を把握する(回答者の属性別に傾向を把握する)
期待できること	専門機関の利用意向が低ければ、周知・広報に力を入れるなど、対応を検討するのに役立てる